

「子どもの文化」ネットワークのご紹介

「子どもの文化」ネットワークは、子どもたちの遊び・文化の原体験を大切に、地域で生き生きと子ども時代を過ごし人間として豊かに成長することを願い、子どもの文化を育むまちづくりを行うネットワーク組織として2005年9月に結成しました。

結成にいたるまでは、長年にわたり地域で子ども文化・子育て支援に関わる活動を続けてきた諸団体が、高槻市立図書館と協働して8年間にわたり「図書館市民まつり」を企画し運営してまいりました。図書館市民まつりが終了した後、8年の間に培ってきたネットワークを財産として、ゆるやかな連合体として「子どもの文化」ネットワークを立ち上げたのです。

設立当初の主な参加団体； NPO法人三島子ども文化ステーション 絵本のまち高槻推進協議会(のちに解散)
おやおやネット 関西朗読文化研究会 人権ネットワーク絵本の会(後に風の子文庫)
空とぶアヒル 高槻島本人形げき連絡会 高槻文庫連絡会(あ～順)

発足以降は、行政との協働事業を取り組み、それぞれの団体の活動への相互の協力関係を深め、高槻市子ども文化祭をはじめとする市域での子どもの文化に関わる活動へ参加してまいりました。

また、伝承文化の継承は後世に対する私たちの大切な任務でもあるので ・おはなしボランティアの養成講座 ・高槻の歴史文化を知りふるさとへの誇りを子ども達に伝える本や紙芝居の制作 ・本をもとにしたおはなし DVD の制作などを行うにあたり、それぞれの課題に関心を持ち、あるいは課題に精通する個人に呼びかけ、実行委員会を立ち上げ制作に取り組んでまいりました。今後とも、時代に必要な子ども文化の支援、子どもの居場所づくり活動等へも積極的に参加していきたいと思っております。



主な活動

平成 18 年度

平成18年度 高槻市協働活性化モデル事業(教育委員会と協働事業)―『就学前教育・小中学校におけるおはなし・読書ボランティア講座』

2005年度に策定された「子ども読書活動推進計画」と、それに対する市民からのパブリックコメントにおいて最も意見の多かった「おはなし・読み聞かせ」を中心とした読書ボランティアに対する研修への要望を受け、その具体化の一環として、幼稚園・保育所や学校の場でおはなし・読み聞かせを行っている方、もしくはこれから関わりたいと考えている方、学校図書館担当者を対象にした協働事業を実施。

- ① 高槻市での読書ボランティアの実態調査を実施し、まとめ集を作成
- ② 読書ボランティア活動の基本的な考え方—大阪ボランティア協会ボランティアコーディネーター鏑栄美子氏、および近畿・学校図書館を考える会栗原節子氏
- ③ 子どもをとりまく状況や文化の現状に対する理解を深める講演会として、広く市民対象の公開講座とし、『ゲド戦記』記者であり国際アンデルセン賞翻訳賞受賞の清水真砂子氏を招へいする
- ④ よりよいお話を実際に目で見、耳で聞く機会を提供する。なにわ語りべの会によるおはなし実践講座
- ⑤ 番外編—発表の場として、一般市民(大人と子ども)を対象に、絵本フェスティバルを開催

平成19年度～20年度

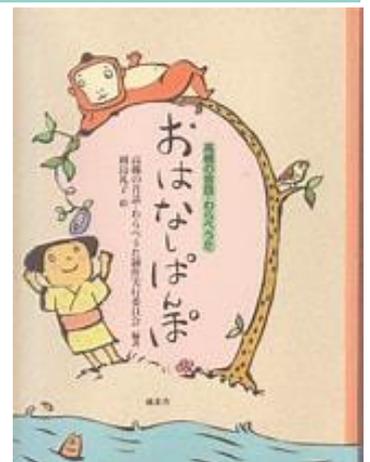
高槻市教育委員会(指導課)が、平成19(2007)年～20(2008)年度文部科学省の委託を受けた事業「子ども読書のまち高槻」へ全面協力

学校が公立図書館や地域ボランティア等と連携して、読書活動を推進する「子ども読書のまち高槻」の取り組みに協力し、全小中学校で実施するため、校区でのおはなしボランティアの人材を紹介し、具体的なモデル授業を数校で先行実施し、ボランティアに対するおはなし出前講座の研修・交流の場を提供

平成21年度～22年度

「高槻の昔話・わらべうた」制作実行委員会の立ち上げ

小中学校へのおはなし出前講座に出向く中で、地元で伝わる話こそ是非子ども達に伝えていきたいとの思いから、2009年6月に「高槻の昔話・わらべうた」制作実行委員会を立ち上げた。郷土史家宇津木秀甫氏による高槻の歴史や昔話の学習会ならびに高槻のまちのフィールドワークに取り組み、宇津木氏が高槻市広報やミニコミ誌に掲載した数多くの昔話から20数話を再話し、さらに編集委員を中心に三次にわたる検討委員会を重ねる。並行して、広く市民から賛同金を募り、2010年12月末「高槻の昔話・わらべうたおはなしぱんぼ」の本一本編と別冊を発行。



岡島礼子え

平成22年度

平成22年度 高槻市市民協働のまちづくり事業—『高槻の昔話・わらべうた』の本の学校への配布並びに出前事業の実施

- ① 発行した本の全小学校および市内全図書館への配布
市内41小学校へ、各校6冊(学校図書館や、学級文庫、支援学級などへも)本と別冊を寄贈し、

② 教職員・読書ボランティアならびに市民への本の紹介をかねた講演会の実施

本の配布と並行して、校内での活用を図っていただくことを第一義に、図書担当もしくは国語担当の教職員や、学校図書館司書や支援員、それに小学校で読書やおはなしボランティアしている方、市立図書館職員などにむけての宇津木秀甫氏による講演会と昔話とわらべうたを紹介。

③ モデル校での出前授業(おはなし会)の実施

出前授業を富田・玉川・清水・芥川・五領の5小学校+安岡寺・川西・檜田の3小学校で実施

平成 29 年度

かみしばい『たかやまうこんさま』の制作



当初の参加団体「絵本のまち高槻」の協賛(出版資金の提供)で、郷土の偉人である高山右近の紙芝居を制作。

紙芝居高山右近さま編集委員会を立ち上げ、郷土史家(故)宇津木秀甫原案をもとに、小学生の子ども達にもわかりやすい紙芝居として再話 イラストは、高槻島本人形げき連絡会代表の河村和代により、平成29(2017)年2月4日 初版第1刷発行

2017年3月4日「高山右近」フェスティバル 昔ばなしかたりベ集团企画運営一にて初演

2018年4月 高槻市立&府立図書館への寄贈

令和 2 年度

「高槻の昔話・わらべうた」映像化プロジェクト実行委員会の立ち上げとおはなし DVD の制作 令和2(2020)年度、コロナ禍のもと、小学校のおはなし会が長らく開くことができなくなる中、間接的にも子ども達におはなしを伝える手段として、おはなし DVD の制作に挑戦。

「おはなしぱんぼ」にとりあげられた話から、たくましく生きてきた先祖の姿や、高槻のおもしろい昔話を、音声や映像を通して伝えたいとの願いから、本よりいくつかのお話を選び、三部構成(山間部に伝わる話、淀川べりや池に伝わる話、街道・城下町に伝わる話)で、オープニングの人形劇とおはなしの語り、それにおはなしの解説(高槻の今と昔の写真)をセットにし、DVD化と市内全小学校への寄付(おはなし便 QR コードも併せて)

令和 4・5 年度

高槻子ども文化祭、アクアピア芥川「高槻の昔話」企画展、NPOフェスタ子ども会場などへの協力参加

その他

高槻市文化団体協議会に加盟

高槻市文化祭、高槻市こども文化祭の実行委員に参加(人形劇、手作り工作などのコーナーを担当)

参加団体

NPO 法人三島子ども文化ステーション

おやおやネット

空とぶアヒル

高槻島本人形げき連絡会

高槻文庫連絡会

関西朗読文化研究会

「子どもの文化」ネットワーク(通称・子どもネット)

〒569-1132 大阪府高槻市清福寺町 13-6 清福寺町公民館 三島子ども文化ステーション気付

TEL&FAX 072-685-2224

[「NPO法人 三島子ども文化ステーション」のホームページはこちら](#) <外部リンク>